

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



平成31年4月19日(金)発行
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

“ようこそ！富中へ” 様々なパフォーマンスを披露！ 今年度最初の生徒会行事『新入生歓迎会』開催される！ 4/12(金)

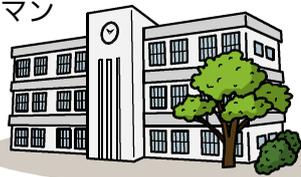
4月12日(金)には、今年度最初の生徒会行事である『新入生歓迎会』が開催されました。

228名の新入生を迎え、2・3年生が生徒会専門委員会の説明や部活動紹介を行いました。部活動紹介では、毎年恒例となっている、実演・実験や映像による紹介等の様々なパフォーマンスが繰り広げられました。今野虹典生徒会長の歓迎のことば、校長あいさつの後、生徒会本部役員の自己紹介、生徒会専門委員会委員長による活動内容の説明がありました。その後、各部活動の紹介となりました。

運動部は、ユニホームやウィンドブレーカーの紹介、練習内容の実演、練習映像の披露、最後には円陣を組んでの歌やかけ声など、それぞれの運動部の特長ある紹介が展開されました。男子卓球部の雄叫びや女子バスケ部のダンスなど、毎年恒例のパフォーマンスでも会場が盛り上がりました。

そして、今年度は文化部の紹介がとても充実していました。美術部は、生徒のリクエストに応じた即興の描画を実物投影機を使って披露しました。家庭科部は実際に制作した作品を披露しました。浴衣、装飾品、ぬいぐるみなどの力作揃いでした。合唱部は特設部員も加わり、校歌の4部合唱を演奏しました。本校校歌の原曲は2部ではなく、なんと4部合唱であることが判明し、その合唱が披露されました。美しいハーモニーに感動しました！この4部合唱が全校生で実現できたら、どんな校歌合唱になるのだろうと期待感がふくらみました。情報処理部は少人数ながらもユーモラスな画像による紹介を行いました。科学部は実験の映像と風船をミカンの皮で割るという実験を披露しました。最後は、吹奏楽部の演奏でした。昨年度大ヒットした「Lemon」と踊り付きの「USA」の2曲で会場も盛り上がりました！

どの部も生徒達のパフォーマンスにとっても工夫が感じられました。全校生で校歌を合唱し、新入生代表の1年3組赤沼恵悟君の堂々としたすばらしい「お礼のことば」



で会が締めくくられました。新入生は早く学校生活に慣れ、自分の打ち込めるもの、本気になって取り組めるものを見つけてほしいと思います。

2・3年生の生徒達は、春休みからこの会の準備を進めてきました。新入生を温かく迎え入れようとする気持ちが伝わってくる会でした。準備、運営等、本当にご苦労さまでした！



生徒会本部役員



専門委員会委員長



サッカー部



女子バスケ部



男子卓球部



剣道部



美術部



家庭科部



校歌合唱



合唱部



吹奏楽部

“訓練”を軽く見てはいけない！ 他人事から自分事へ

4月16日（火）の朝のニュースで目に飛び込んできたのが、フランスが世界に誇る世界遺産ノートルダム大聖堂の大火災の映像でした。パリ市民の悲しみにくれる姿も映されていました。

災害や事故は「いつ何が起こるのか」予測がつかない今、日常の訓練の持つ意味には大きいものがあると思います。この日の6校時には、「避難訓練」が実施されました。昨年度から上履きのままでの避難に変えましたが、今回はどの学年も無言で迅速に避難ができました。特に最初に避難し整列を完了した3年生の態度が大変すばらしかったです。さすが、最上級生です。



無言で避難する生徒達



避難状況を聞く生徒達

あの東日本大震災では、津波からの避難訓練を8年間重ねてきた岩手県釜石市内の小中学校において、全児童生徒計約3千人が即座に避難し、生存率99・8%という成果を挙げ、『釜石の奇跡』と呼ばれました。

この『釜石の奇跡』において、この「奇跡」を支えたのは、古くから伝えられてきた「津波てんでんこ」という先人の教え（海岸で大きな揺れを感じたときには、津波が来るから各自てんでんばらばらに一刻も早く高台に逃げて、自分の命を守れ、という意味）と、日常の徹底した避難訓練でした。そして、みんなと同じ中学生が「津波が来るぞ！」と叫びながら高台へ走り、さらに隣の小学校の児童達の手を引きながら、より高い場所へ避難し、多くの命が間一髪のところ助かったという事実がありました。

中学生のとっさの判断と迅速な行動が、小学生や地域の人々をも動かしたところに特筆すべき点があります。災害や事故に対し、人はどうしても「他人事」としてとらえてしまいがちです。その「他人事」を「自分事」として考えることが大きな備えになるのだと思います。「自分自身の命を守るということ」の意味をしっかりと噛みしめたい。そして、決して訓練を軽く見ない、おろそかにしてはいけないということを肝に銘じ、「いざ！」という時の行動を頭の中に置いて生活してほしいと思います。

四半世紀にもわたるご厚意に 感謝いたします！

今年度も職員玄関には、船越紀子さんによる生け花が飾られています。四半世紀（25年）以上にわたり、定期的に生け花を生けてくださっている船越さんには感謝申し上げます。いつも本当にありがとうございます。4月の生け花は、まさに“春爛漫！”色とりどりの花木が華やかに生けられています。

来校者の方々にも好評で、何よりも本校の生徒や職員の方々の心も癒やしてくれます。

船越さん、今年度もよろしくお願いたします。



1年生も自転車通学開始！命を守るための具体的な行動とは

教育委員会からの通知によると、新年度に入り、市内児童生徒の重傷交通事故が2件連続して発生したそうです。いずれも飛び出しによる自家用車との接触事故です。

4月10日（水）には、「交通安全教室」が行われ、翌日から1年生の自転車通学がスタートしました。交通安全教室では、地域を熟知している係の諸越先生から、学区内の危険箇所が写真や動画で示され、具体的な注意点や交通ルールの遵守についての話がありました。しかしながら、ここ数日間で、本校生徒の登下校のマナーについて、「道路を何列にもなって歩いている」「自転車が急に飛び出してきて危険である」など、地域の方からの指摘が続いてありました。まさに「他人事」と「自分事」の問題です。

「歩行時も自転車運転時も、飛び出しは絶対にしないこと」、「交差点での安全確認を怠らない、車が来ないことを確認してから横断すること」、「自転車に乗る時は、必ずヘルメットを着用し、薄暮時、日没後はライトを点灯すること」、「並列になって道路を歩行しないこと」など、命を守るための具体的な行動を自分事として実行してください！



交通安全教室での指導